

リハビリテーション科

室長 根本 敬



私達が湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション科の顔です

リハビリテーションとは

『Rehabilitation』とは、re（再び）-habilis（ふさわしい）-ation（にすること）を意味する。つまり、人が病気やけがなどにより望ましくない状況へ陥った際に、それをもとのふさわしい状態へと戻すことがリハビリテーションであり、また障害を背負ってしまった人がこれを受容し、新しい人生を建設していくことでもある。

展望

平成15年より厚労省推進のもと試行開始となったDPC（診断群分類包括評価）により診療報酬が包括的な定額払いとなるも、リハビリテーション料は出来高制を維持、サービスの標準化と共に治療効果が明確に求められる時代環境へと変遷した。

急性期施設の在院日数短縮が必然とされてくるなか、とりわけ急性期リハビリはこれまでのリスク管理や廃用症候群の予防を中心とした従来のリハビリに加え、専門性の高い“治療”の色を濃くした積極意的アプローチと、より患者中心の医療に囲まれた環境でのQOL（生活の質）向上などを目的とした考え方が望まれる。

今後は社会ニーズに応答する急性期リハビリの新

たな取り組みと創造を目指し、『急性期から在宅まで患者さん主体の質の高い医療を提供する』当科の理念を追及して行きたい。救急医療を主体とした全人的リハビリテーションの実践をトータルケアの位置付けからどこまで踏み込めるか、その動機付けおよび専門職としての治療・技術の体系的確立が我々に与えられた責務であると同時に、療法士としての存在意義とも言えよう。

診療実績

当院では理学療法・作業療法・言語聴覚療法の3部門が存在。リハビリテーション効果は各療法間ではもちろん、他部門と相互の適切な連携を保つことで相乗効果が生まれることから、“急性期から在宅まで”洗練されたチームアプローチの確立を目指すべく、日々の研鑽を行っている。

診療実績では法制度の定期的な改定の影響を受けながらも、当院の特徴たる新規患者数の増大に適応し多症例の急性期リハビリを手がけてきた。今後は各部門ごと、その職域の可能性を求め他病期のリハビリテーションの多面性をも発掘すべく尽力したい。

2013年 リハビリテーション診療実績（年間）

総計	124,257件
理学	66,176件
作業	41,473件
言語	16,608件
入院件数	計114,041件
理学	60,553件
作業	37,225件
言語	16,263件
外来件数	計10,216件
理学	5,623件
作業	4,248件

言語	345件
新規件数	計15,374件
理学	7,643件
作業	4,703件
言語	3,208件

現状と課題～, 日本フットケア学会 鎌倉セミナー,
神奈川, 2013, 10.

学術業績

学会発表

1. 根本敬：下肢末梢動脈疾患患者における運動習慣の有用性 ～皮膚灌流圧による検討～, 神奈川県理学療法士学会, 神奈川, 2013, 3.
2. 伊野部直子: 退所後訪問による在宅生活の検証, 神奈川県理学療法士学会, 神奈川, 2013, 3.
3. 千葉公太：当院におけるPCI後翌日からの心臓リハビリテーション実施状況, 神奈川県理学療法士学会, 神奈川, 2013, 3.
4. 長谷川光一：複数の動作阻害因子を持った高齢者に対して歩行能力向上を目指した一症例 ～歩行能力向上に向けたアプローチ～, 神奈川県理学療法士学会, 神奈川, 2013, 3.
5. 斉田浩彰：脳卒中患者のシームレス・リハビリテーションを目指す湘南鎌倉総合病院リハビリテーション科の取り組み, 神奈川県脳卒中治療研究会 大磯セミナー, 2013, 7.

講演会

定期講演

1. 根本敬：お家でできる!!腰痛体操～実践編～
2. 吉本雅一／水之江洋：自分で治すリハビリテーション“肩”～痛みなくバンザイできますか?～
3. 南條恵悟：自分で治すリハビリテーション“膝”～痛みなく歩けますか?～
4. 一條幹史：運動器系体表解剖セミナー

招聘公演

1. 根本敬：下肢切断患者のリハビリテーション～